

# 社会資本整備総合交付金 事後評価シート

経田地区

平成28年9月

富山県魚津市

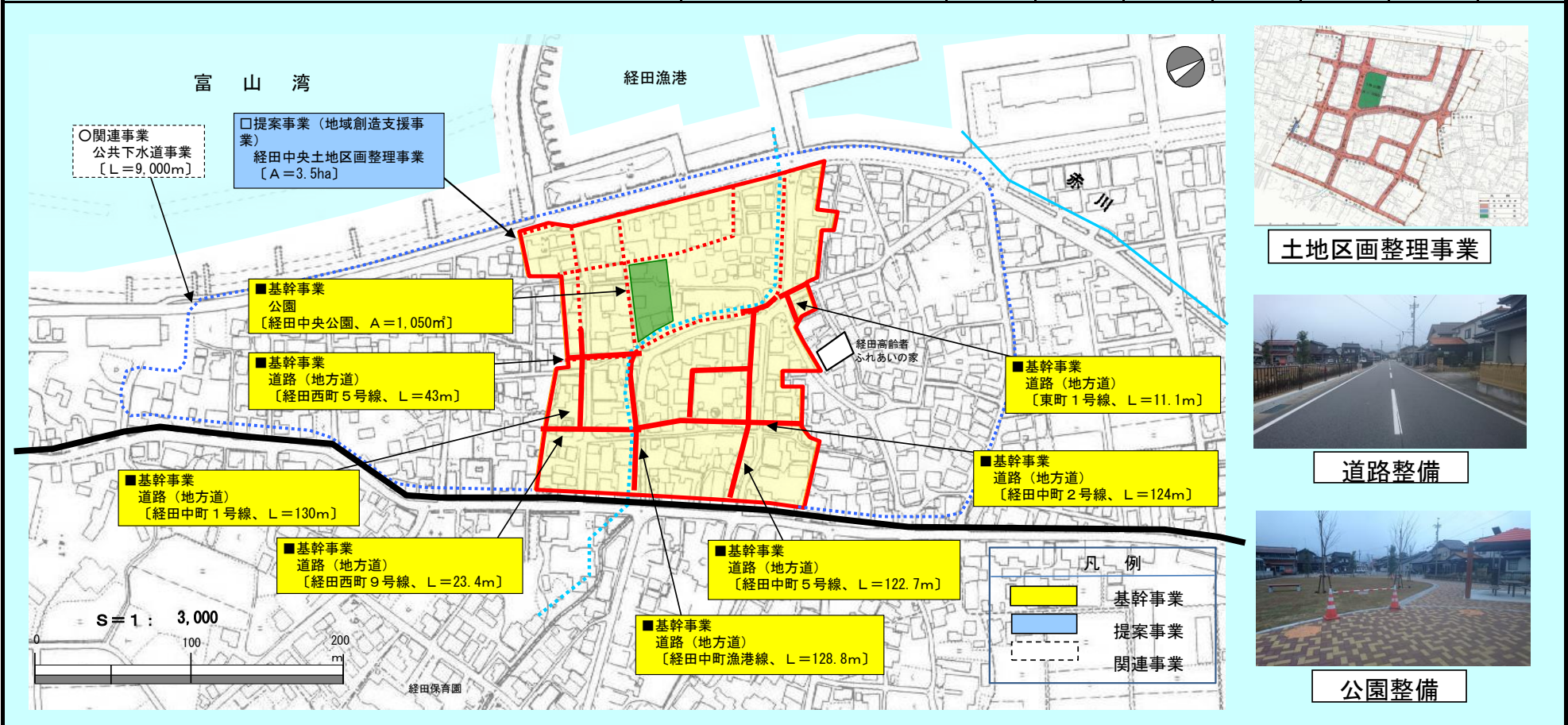
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	富山県		市町村名	魚津市		地区名	経田地区			面積	3.5ha		
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	837百万円		国费率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路:地方道整備(経田中町漁港線他6路線)										
		提案事業	地域創造支援事業:土地区画整理事業(市単独分)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	なし		-				-				
	新たに追加した事業	基幹事業	公園:経田中央公園		道路整備及び土地区画整理事業と同時に公園整備を行うことにより、地区内のあらゆる世代の住民がふれあいながら生活できる環境づくりを目指す。社会資本総合整備計画のB関連社会資本整備事業から、都市再生整備計画の基幹事業へ振り替えるもの。				まちづくりの目標達成に向け、プラスの影響があるが、目標も指標も据え置く。				
		提案事業	なし		-				-				
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	災害に対する不安度	%	45%	H22	30%	H27	モニタリング	評価値	24%	○	以前は住宅密集地であったが、事業効果により解消されたため、万が一火災があった際に延焼の恐れがなくなった。	
	指標2	狭隘道路に面する宅地数	戸	38戸	H22	5戸	H27		1戸	○	拡幅された道路に宅地が面するようになったため、緊急車両等が家の前に乗り付けることができるようになった。		
	指標3	生活環境の満足度	%	65%	H22	70%	H27		76%	○	拡幅された道路に面するすべての宅地において、下水道への接続が可能となった。		
	指標4	地域まちづくり活動の頻度	回/年	12回/年	H22	12回/年	H27		12回	○	事業の進捗に伴い、毎年継続したまちづくり活動が定着している。		
	指標5												
	指標6												
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	なし												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	狭隘道路に面する宅地数を減少させる取り組み		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	狭隘道路に面する宅地を減少させるよう、適宜確認していく。				
	住民参加プロセス	意見交換会の実施(経田中央公園)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	地区住民の憩いの場となる公園になるよう、住民の意見を取り入れながら公園の整備を行う。				
	持続的なまちづくり体制の構築	事業終了後の継続的なまちづくり活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	地区住民の意見集約等のために、ワークショップを開催していく。				

## 様式2-2 地区の概要

### 経田地区(富山県魚津市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
「災害に強いまちづくり」 安心し誇りを持って住み続けられる活力とコミュニティあふれるまち ・防災性の高い安全な市街地の形成 ・居住環境の改善 ・既存コミュニティの活性化と人口定着の促進	災害に対する不安度	%	45	H22	30	H27	24	H27
	生活環境の満足度	%	65	H22	70	H27	76	H27
	地域まちづくり活動の頻度	回/年	12	H22	12	H27	12	H27



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"><li>・建替え困難な敷地環境が改善され、老朽建築物が更新されている。また、8m、6m道路の整備やオープンスペースの確保により防災性の向上が図られた。</li><li>・公共施設整備が行われたことで、住環境が改善され、若年層の人口減少軽減に一定の効果があったものと考えられる。また、定期的に会合が行われるなど、地区住民の意識や関心が高まっているものと考えられる。</li></ul>
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	<ul style="list-style-type: none"><li>・地区全体の防災性を向上させるため、地元と連携しながら避難訓練等を行っていく。</li><li>・活発になってきたまちづくり活動を維持するために、側面的支援を行う。</li></ul>

# 社会資本整備総合交付金 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② ~~その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測~~
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ ~~数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理~~

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- ~~添付様式9 有識者からの意見聴取~~

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他( )					

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	経田中町漁港線	242	L=128.8m	230	L=128.8m	事業費、事業量の精査により減額する	影響なし	●	
道路	東町1号線	3	L=11.1m	2	L=11.1m	事業費、事業量の精査により減額する	影響なし	●	
道路	経田中町1号線	94	L=130.0m	89	L=130.0m	事業費、事業量の精査により減額する	影響なし	●	
道路	経田中町2号線	114	L=124.0m	104	L=124.0m	事業費、事業量の精査により減額する	影響なし	●	
道路	経田中町5号線	192	L=122.7m	160	L=122.7m	事業費、事業量の精査により減額する	影響なし	●	
道路	経田西町5号線	89	L=43.0m	59	L=43.0m	家屋移転時期の変更による工事量減	影響なし	●	
道路	経田西町9号線	36	L=23.4m	42	L=23.4m	事業費、事業量の精査により減額する	影響なし	●	
公園	経田中央公園		A=1,050m <sup>2</sup>	22	A=1,050m <sup>2</sup>	道路整備及び土地区画整理事業と同時に公園整備を行うことにより、地区内住民がふれあう環境づくりに寄与する。		●	
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設									
高次都市施設									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
既存建築物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと





添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
			基準 年度			基準 年度		目標 年度					あり	なし	
指標1	災害に対する不安度	%	平成22年9月の調査と同様の設問を含めたアンケート調査を実施し、災害に対する不安度を把握する。	—	—	45%	H22	30%	H27	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み ●	事後評価	○		
指標2	狭隘道路に面する宅地数	戸	整備後の道路及び宅地の現況図を作成し、該当する宅地数を把握する。	—	—	38戸	H22	5戸	H27	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み ●	事後評価	○		
指標3	生活環境の満足度	%	平成22年9月の調査と同様の設問を含めたアンケート調査を実施し、生活環境の満足度を把握する。	—	—	65%	H22	70%	H27	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み ●	事後評価	○		
指標4	地域まちづくり活動の頻度	回/年	平成28年1月末時点における平成27年度の活動実績と過去4年間の活動実績から、活動回数を類推する。	—	—	12回/年	H22	12回/年	H27	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み ●	事後評価	○		
指標5										モニタリング					
										事後評価	確定見込み				
指標6										モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み				

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	平成27年10月実施の住民アンケートの集計により、目標を達成していることを確認した。	
指標2	整備後の道路及び宅地の現況図を作成し、該当宅地がないことを確認した。	
指標3	平成27年10月実施の住民アンケートの集計により、目標を達成していることを確認した。	
指標4	平成27年12月に地区内公民館等へ調査を行い、目標を達成していることを確認した。	
指標5		
指標6		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

なし

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
狭隘道路に面する宅地数を減少させる取り組み	予定どおり実施した	● 仮換地指定(H23.4月)と街区・画地出来形確認測量(H26.8月)において、当該宅地について確認を行った。事業実施前に38戸だったものを1戸に減少させることができた。	指標2の目標値(5戸)を達成することができたため、特に今後の対応の予定なし。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
意見交換会の実施 (経田中央公園)	予定どおり実施した	● 公園整備に際し地元の意見を取り入れた公園となるよう、地区住民と意見交換会を行った。(H26年7月、H26年10月、H27年4月) 意見交換会の結果、桜の木を植える、高齢者向けの健康遊具を充実させる、四阿を設置する、芝生を植える等、住民の要望を取り入れた公園整備を行った。	公園の維持管理に関する支援を行っていく。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
事業終了後の継続的なまちづくり活動	予定どおり実施した	● 地区住民へまちづくりに関する啓発活動	経田区画整理委員会 土地区画整理事業の計画区域の地権者により構成されており、地区住民の意見集約を行っている。	地区住民の意見集約等のためのワークショップを支援していく。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった(理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった(理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織	産業建設部:都市計画課、建設課 企画総務部:地域協働課 教育委員会:生涯学習課	第1回 平成27年10月13日	都市計画課(主管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	指標3	指標4				
指標名		災害に対する不安度	狭隘道路に面する宅地数	生活環境の満足度	地域まちづくり活動の頻度				
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度 総合所見	指標改善への貢献度 総合所見	指標改善への貢献度 総合所見	指標改善への貢献度 総合所見				
基幹事業	(道路)経田中町漁港線	◎	道路整備事業や土地 区画整理事業を行 い、緊急車両の進入が 容易となった。また、建 替え困難な敷地環境を 改善し、老朽建築物の 更新を促進させたこと で、面としての防災性 が向上した。	◎	道路整備事業や土地 区画整理事業を行った ことで、狭隘道路に面 する宅地を減少させる ことができた。	○	公園ができたことによ り、住民の憩いの場と なった。 また、道路整備事業に より、交通の利便性の 向上とともに下水道が 整備され、生活環境が 向上した。	○	公園ができたことによ り、町内会や地区の行 事に利用され、住民の 交流がより活発になっ た。
	(道路)東町1号線	◎		◎		○			
	(道路)経田中町1号線	◎		◎		○			
	(道路)経田中町2号線	◎		◎		○			
	(道路)経田中町5号線	◎		◎		○			
	(道路)経田西町5号線	◎		◎		○			
	(道路)経田西町9号線	◎		◎		○			
	(公園)経田中央公園	○		-		◎		◎	
提案事業	(地域創造支援事業)土地区画整理事業	◎	◎	◎	○				
関連事業	公共下水道事業	-	◎	◎	-				

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △: 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	継続的に事業を行い、災害に対する住民の不安がないように支援していく必要がある。	継続的に事業を行い、現状を維持していく必要がある。	継続的に事業を行い、住民の生活環境の向上を支援していく必要がある。	地区住民の意見集約等のためワークショップを支援していく必要がある。

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織	産業建設部:都市計画課、建設課 企画総務部:地域協働課 教育委員会:生涯学習課	第1回 平成27年10月13日	都市計画課(主管課)

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
安全に安心して住み続けられるまちへの転換	建替え困難な敷地環境が改善され、老朽建築物が更新されている。また、8m、6m道路の整備やオープンスペースの確保により防災性の向上が図られた。		
地域活力とコミュニティを増進するまちづくり	道路や公園の整備が行われたことで、住環境が改善され、若年層の人口減少軽減に一定の効果があったものと考えられる。また、定期的に会合が行われるなど、地区住民の意識や関心が高まっているものと考えられる。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	安全に安心して住み続けられるまちへの転換	地区全体の防災性を維持していけるよう、町内会と連携しながら支援していく。	・空家対策支援
	地域活力とコミュニティを増進するまちづくり	活発になってきたまちづくり活動を維持するために、側面的支援を行う。	・まちづくり活動支援

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未達成の目標を達成するための改善策</li> <li>・未解決の課題を解消するための改善策</li> <li>・新たに発生した課題に対する改善策</li> </ul>		

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	災害に対する不安度	%	45%	H22	30%	H27	確定 ●	24%	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標2	狭隘道路に面する宅地数	戸	38戸	H22	5戸	H27	確定 ●	1戸	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標3	生活環境の満足度	%	65%	H22	70%	H27	確定 ●	76%	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標4	地域まちづくり活動の頻度	戸	12回/年	H22	12回/年	H27	確定 ●	12回/年	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標5							確定			あり	→		
							見込み			なし			
指標6							確定			あり	→		
							見込み			なし			
その他の数値指標1				H			確定			あり	→		
							見込み			なし			
その他の数値指標2				H			確定			あり	→		
							見込み			なし			
その他の数値指標3				H			確定			あり	→		
							見込み			なし			



## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	指標1と指標3における住民アンケートについて、平成23年度と同じ質問項目とすることにより、事業実施前後の数値を測定することができた。	今後、再度交付金を活用する場合、アンケートの質問項目を参考にしたい。
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	地区住民との意見交換等を行い、住民の意見を取り入れた公園整備をすすめることができた。	公園整備に限らず、地区住民の意向を反映しながらまちづくりを行っていきたい。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

### 添付様式6ー参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後の交付金活用予定

当地区に隣接する地区において、継続的な整備が必要となっている。今後、交付金を活用する場合、今回の経験を生かして次期計画を進めていきたい。

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成28年1月1日～1月15日	平成28年1月1日～1月15日	担当課への電話、 FAX、電子メール	都市計画課(主管課)
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページ及び 担当課窓口で原案を公表して いる旨を掲載	平成28年1月1日発刊 広報うおづ平成28年1月1日 号	平成28年1月1日～1月15日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	窓口閲覧	平成28年1月1日～1月15日	平成28年1月1日～1月15日		

住民の意見	なし。
-------	-----

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	北陸職業能力開発大学校 能力開発統括部長 上田 輝昭	第1回 平成28年2月9日	都市計画課(主管課)	なし	独自に設置
その他の委員	経田地区 区長会長 稲場 雅敏 経田公民館 公民館長 高瀬 忠次 交通センター経田支部 副支部長 後藤 哲雄 富山県新川土木センター 建築課長 守田 賢 富山県東部消防組合 魚津消防署長 東 秀人				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・特に問題なし。
	成果の評価	・特に問題なし。
	実施過程の評価	・特に問題なし。
	効果発現要因の整理	・指標③「生活環境の満足度」について、道路が拡幅されたこと、下水道が整備されたこと等により、住民が生活しやすくなったのは明らかである。アンケート内容にもう少し工夫があれば、より正確な満足度がわかったのではないかとこの意見があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	・妥当であると認められた。
	その他	・生活環境が向上した一方で、交通量の増加によるあらたな問題があるとの指摘があった。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・区画整理を行った地区に隣接する地域について、今後、何らかの整備をすすめていく必要があるとの意見があった。 ・定期的にワークショップ等を行い、住民の求めるまちづくりをすすめてほしいとの意見があった。
	フォローアップ	・特になし。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	・念願であった公園が完成したため、公園を活用した行事を開催していきたいとの意見があった。 ・事業が終わった後も、地元と市が協力しながら、継続したまちづくりを行っていきたいとの意見があった。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。